

「尾崎先生、ありがとうございました」

浅見 賢

「西大畑のみなさんは、お元気ですか?」と、植物調査会の折、いろいろのお話の中で、ときどき、この言葉を掛けて戴いた。尾崎先生のお宅は、新潟大神宮と道路を隔てて向かいの石垣の高台にあった。小生の実家とは、歩いて1~2分しか離れていなかった。中学生の頃友達が「あそこは、植物学者の先生の家だ。押し葉にした新聞紙が、あんなにたくさん干してある」と。小路から見上げると新聞紙がたくさん見えた。また、浜に遊びに行くとき、坂を上ったところの右側に二葉中学校があった。道路から教室も見えた。低い石塀と校舎の間にニセアカシアの大きな樹が何本も並んでいた。その先には松林があり、すぐ海が見え、砂丘の上に出た。校舎のところで何回か尾崎先生のお姿を見かけた。町内でお見かけすることもあり、お名前と顔は知っていた。じねんじょ会ではじめてお会いしたとき、「西大畑の浅見です」とご挨拶したが、しどろもどろだったと思います。子ども時代の気持ちそのままに「植物学者の偉い先生」に初めてご挨拶したのですから…。あれから、いくつ歳を重ねても、小生の心のうちにはその気持ちがありました。今も、そうです。

小生の勤務地である東蒲原郡三川村で採集会が決まったとき、「あのあたりの植物リストがあるから、送ってあげますよ。アイウ順にプリントして、当日みなさんに配布してください」と、三川村の植物リストを送ってくださった。そのプリントを作ったとき、採集会はまだ先のことだというのに、本当に心から嬉しく思った。これで、準備は万端だと。遠い遠い40年も前、じねんじょ会が発足し歩み始めた頃の、昔のことです。あのときのありがたかったこと、気に掛けて戴いたこと、嬉しかったことは、忘れられない。強く心に残っています。

その後も、尾崎先生には飯豊調査の時に、胎内から家まで車に乗せていただくなど、当時、自家用車など珍しい頃でした。何かとたくさんお世話になりました。本当にありがとうございました。

尾崎モミジ園

石村 豪

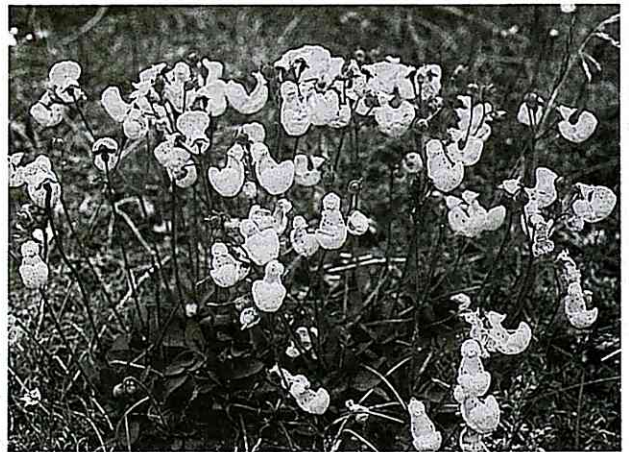
20年程前の5月中旬に尾崎先生より、モミジを見に来ないかとお誘いを受けた。新緑のモミジ観賞は夕方が最高に美しいというすばらしい助言を戴いた。拙宅は先生宅まで歩いて数分のところがあるので早速、先生の進言通り夕方にお伺いした。砂丘の高台にある、広い住宅地の一角にな

んとも思いもよらない程、沢山のモミジが植えてあった。先生のご案内でモミジ園の散策が始まり、1本々々を丁寧にご説明下さり、夕日に映える新緑のモミジの美しさを満喫させて戴いた。更に数多くの写真、スライドを見せて戴き大満足で帰宅した。尾崎先生の貴重な資料の一片だったのである。

桜の花は八分咲きの晴れた日の、午前10時頃が最も美しいとされている。モミジの新葉の最たる見頃の時間帯が新葉の展開した夕暮れ時だと言うことを初めて知った。

以前、京都南禅寺で新緑のモミジを見て大変美しいと感動したことがあった。その時は早朝であった。と、すると新緑のモミジは朝でも夕方でも美しいのかもしれない。

尾崎モミジ園には、どの位の種類と数のモミジが植えられていたかは覚えていない。が、先生は、長年モミジの研究をされていたので、野生種を中心に、珍しい品種を国内外から収集され、園芸種を含めると近辺にない程、相当の数のモミジが植えられていた事と思う。新潟県植物目録[チェックリスト](予報)によれば、県内には26種のカエ



尾崎先生からお送りいただいた南米パタゴニア地方(パイネ国立公園内)の野生 宿根カルセオラリア

1994. 12. 4



尾崎先生からお送りいただいた南米パタゴニア地方(パイネ国立公園内)の野生 宿根カルセオラリアの群生

1994. 12. 7